

感染症発生動向調査により届け出られた 茨城県における梅毒の概要（2024年第4四半期）

茨城県感染症情報センター

茨城県感染症情報センターでは、2024年第1四半期より、感染症発生動向調査により届出られた茨城県内における梅毒症例の動向について、四半期ごとに情報をまとめ還元しております。

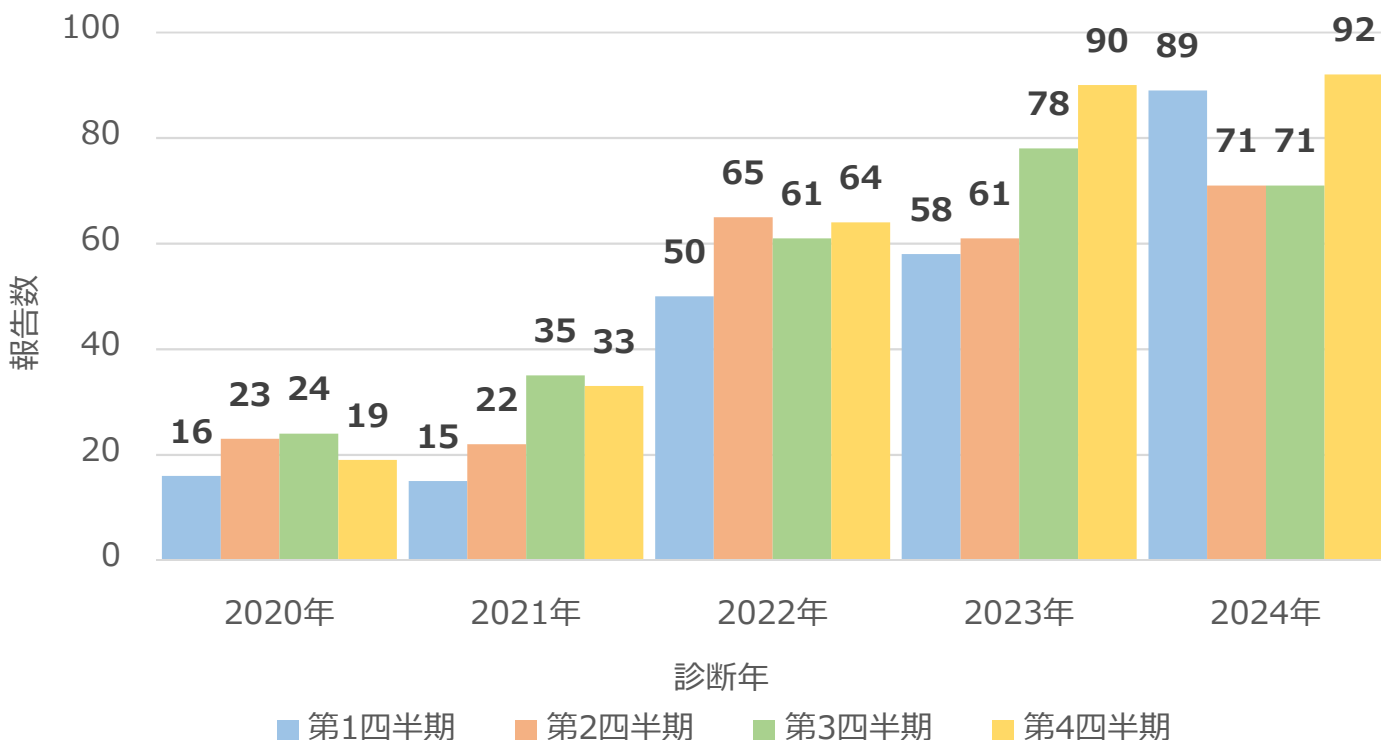
第1四半期：第1週～13週（2024年1月1日～3月31日）
第2四半期：第14週～26週（2024年4月1日～6月30日）
第3四半期：第27週～39週（2024年7月1日～9月29日）
第4四半期：第40週～52週（2024年9月30日～12月29日）

※ 2025年1月17日時点のデータで集計しているため、遅れ報告は含まず

四半期別 梅毒報告数

- 2024年第4四半期の報告数は92例となり、2020年以降の四半期別報告数過去最多となった

茨城県内における四半期別 梅毒報告数（2020年～2024年）



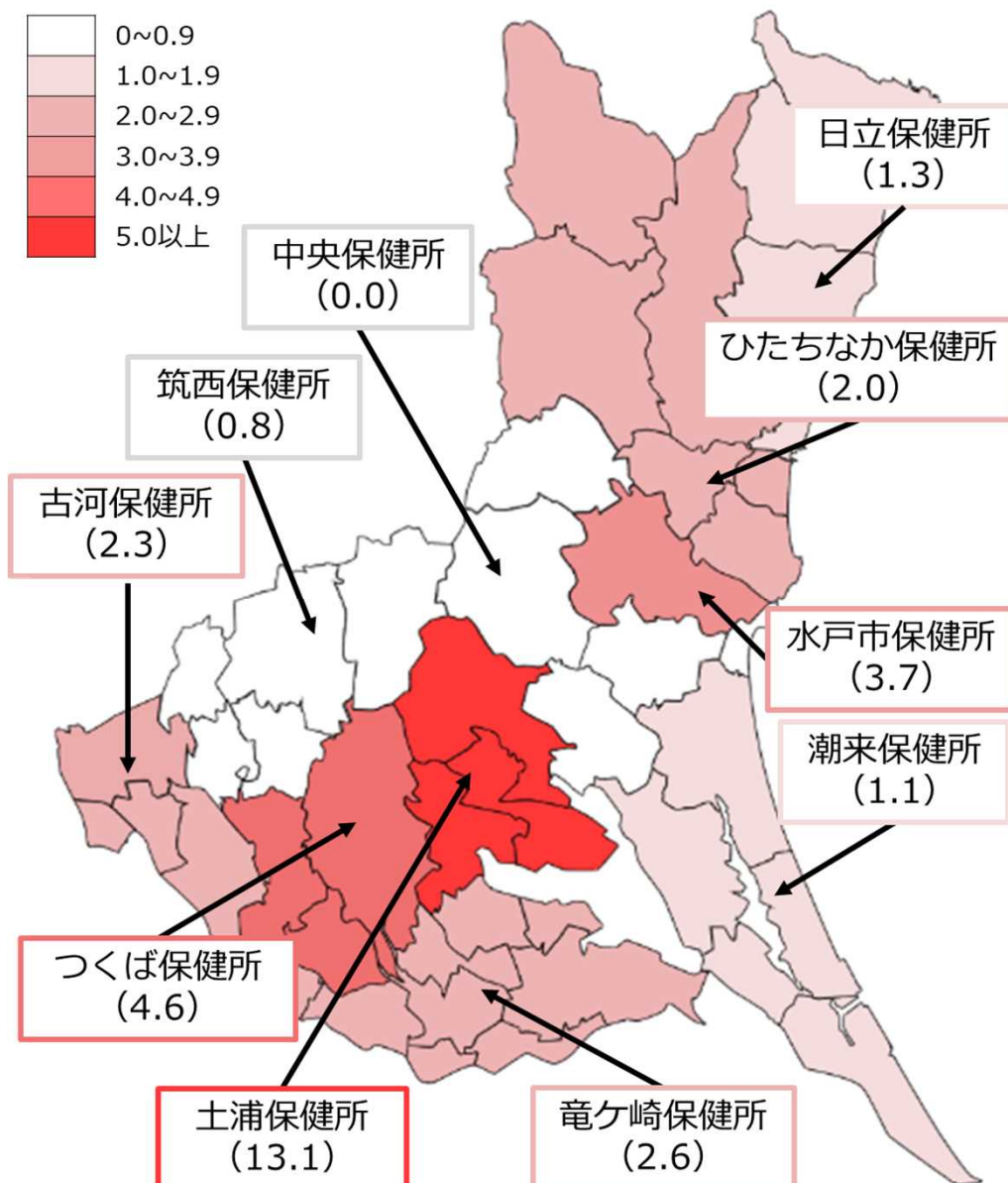
管轄保健所別 梅毒報告状況

- 管轄保健所別の梅毒報告数は、土浦保健所が33例と最も多く、つくば保健所（17例）、竜ヶ崎保健所（12例）の順に多かった
- 人口10万人当たり報告数は、土浦保健所が13.1と最も高く、つくば保健所（4.6）、水戸市保健所（3.7）の順に高かった

茨城県内における管轄保健所別 梅毒報告数（2024年第4四半期：9/30～12/29）

	中央	ひたちなか	日立	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	古河	水戸市	計
男	0	6	2	2	7	25	14	1	3	9	69
女	0	1	1	1	5	8	3	1	2	1	23
計	0	7	3	3	12	33	17	2	5	10	92

管轄保健所別 人口10万人当たり報告数（2024年第4四半期:9/30～12/29）



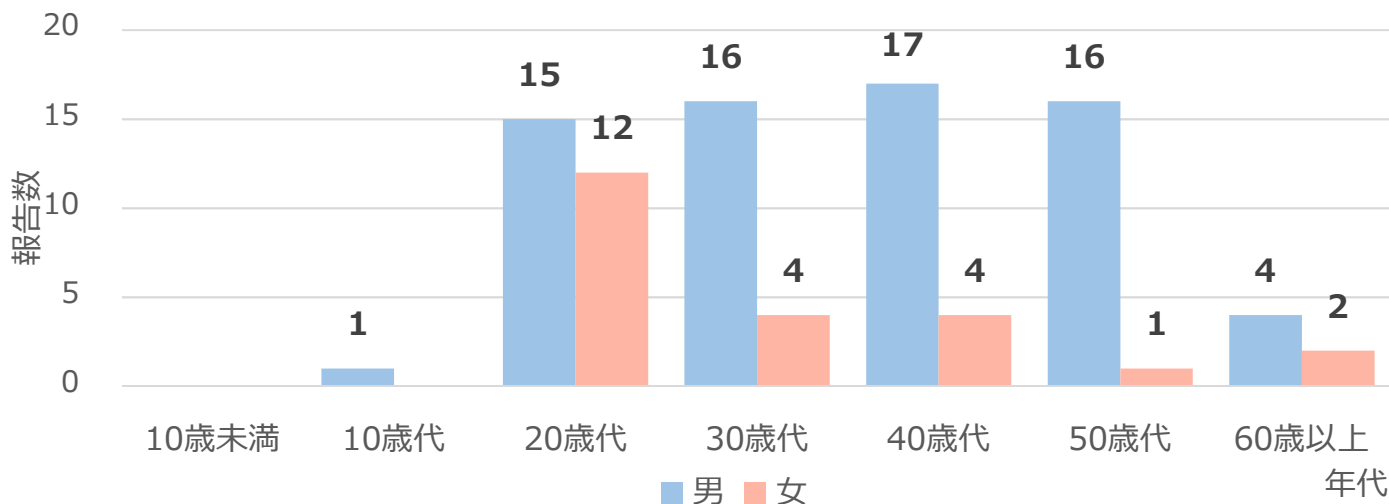
※（ ）内は人口10万人当たり報告数

※ 人口は「茨城県の人口と世帯(推計)2024年1月1日現在」を使用

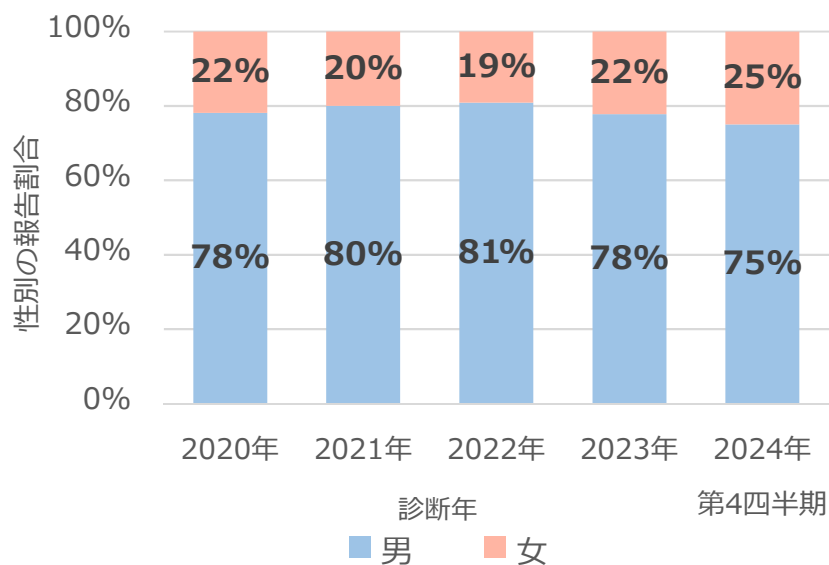
性別・年代別 梅毒報告状況

- 2024年第4四半期に報告のあった梅毒症例は、男性が75%（69例）女性が25%（23例）と男性に多かった
- 梅毒症例の年代は、20歳代が27例（29%）と最も多かった

茨城県内における性別・年代別 梅毒報告数（2024年第4四半期:9/20~12/29）



性別 梅毒報告割合（2020年～2024年）



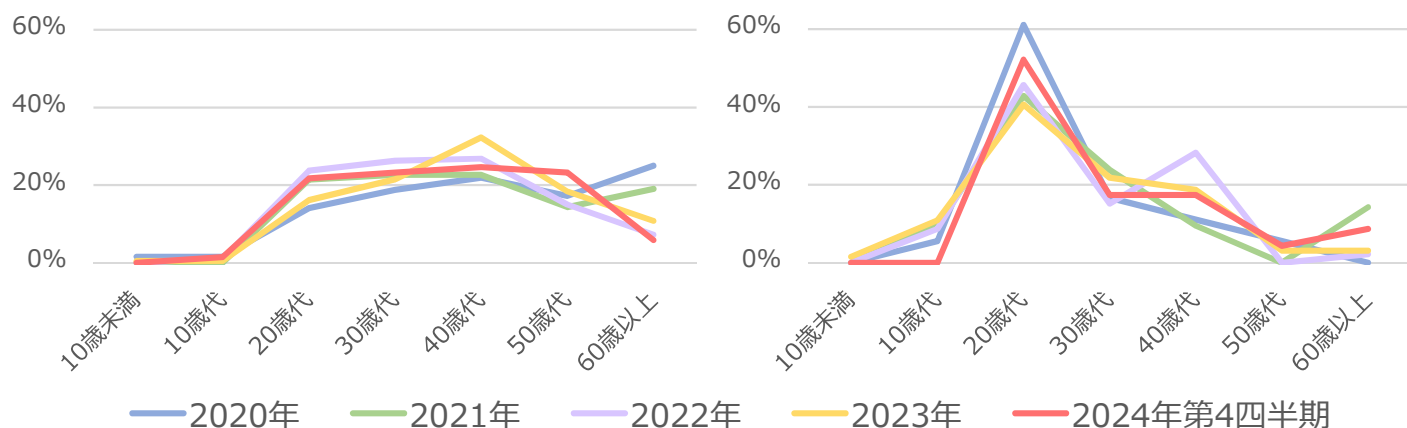
- 2024年第4四半期に報告のあった梅毒症例の男女別の割合は、例年と同様の傾向であった

- 2024年第4四半期に報告のあった20歳代女性症例の割合は、2020年について2番目に高かった

年代別 梅毒報告割合（2020年～2024年）

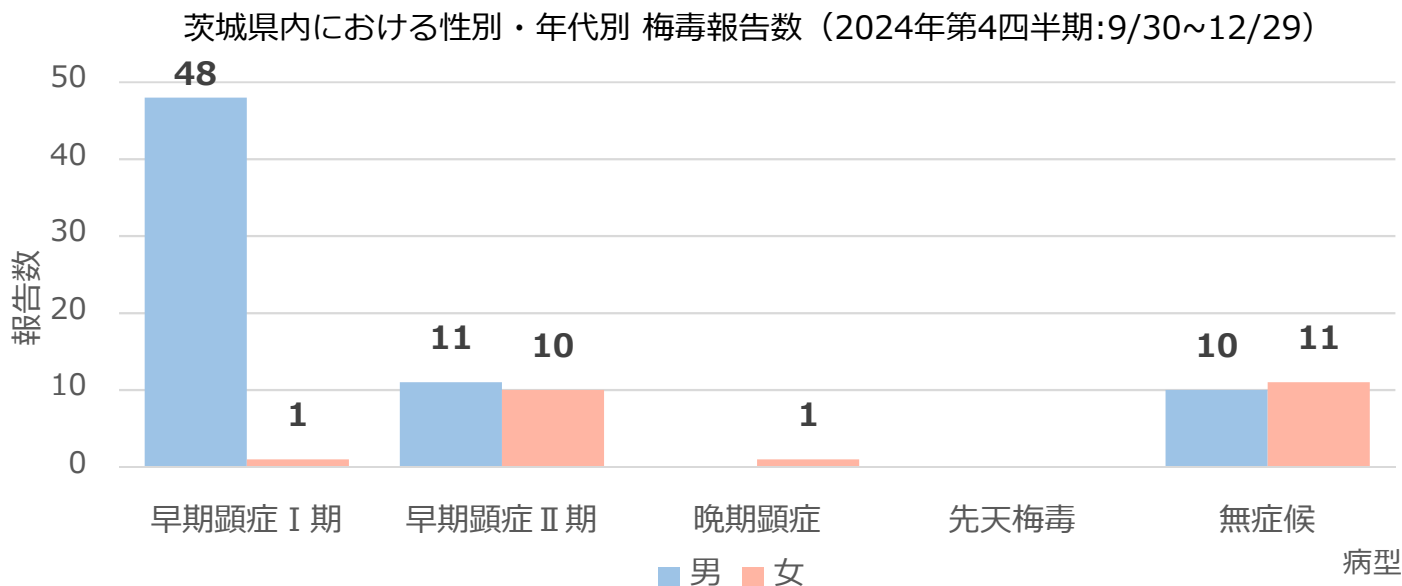
【男性】

【女性】



病型別 梅毒報告状況

- 2024年第4四半期に報告のあった梅毒症例の病型は、男性は早期顕症Ⅰ期が多く、女性は早期顕症Ⅱ期と無症候が多かった



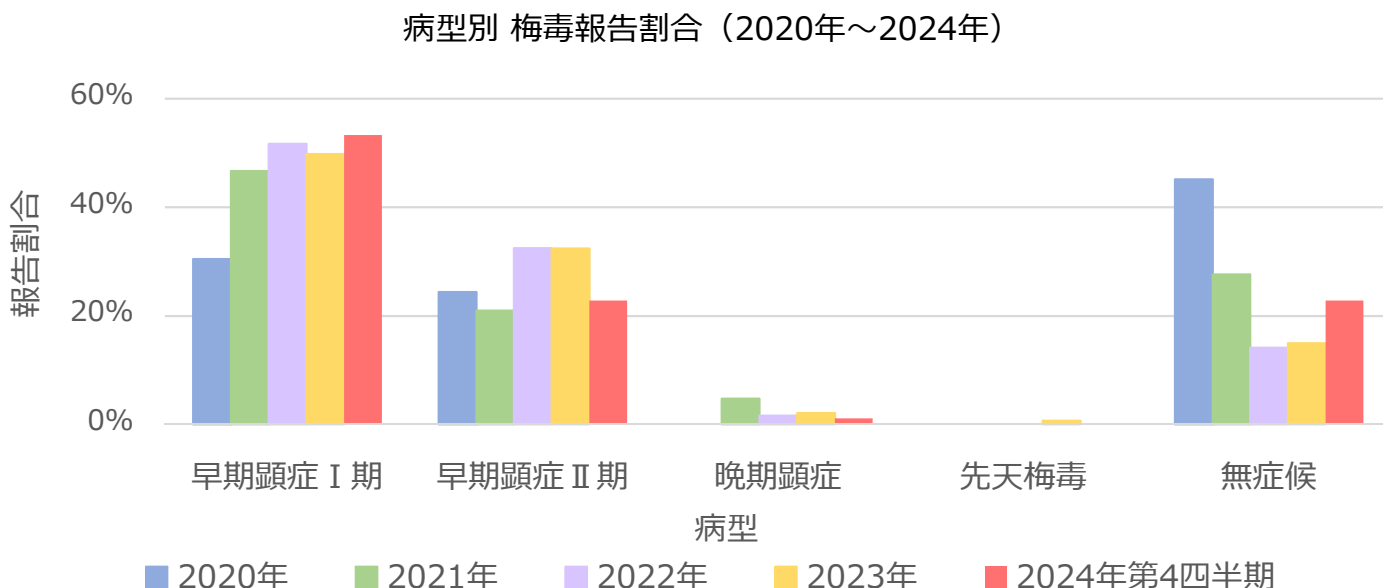
【男性】病型別 梅毒報告数（2024年第4四半期:9/30~12/29）

早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
48 (69.6%)	11 (15.%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (14.5%)	69

【女性】病型別 梅毒報告数（2024年第4四半期:9/30~12/29）

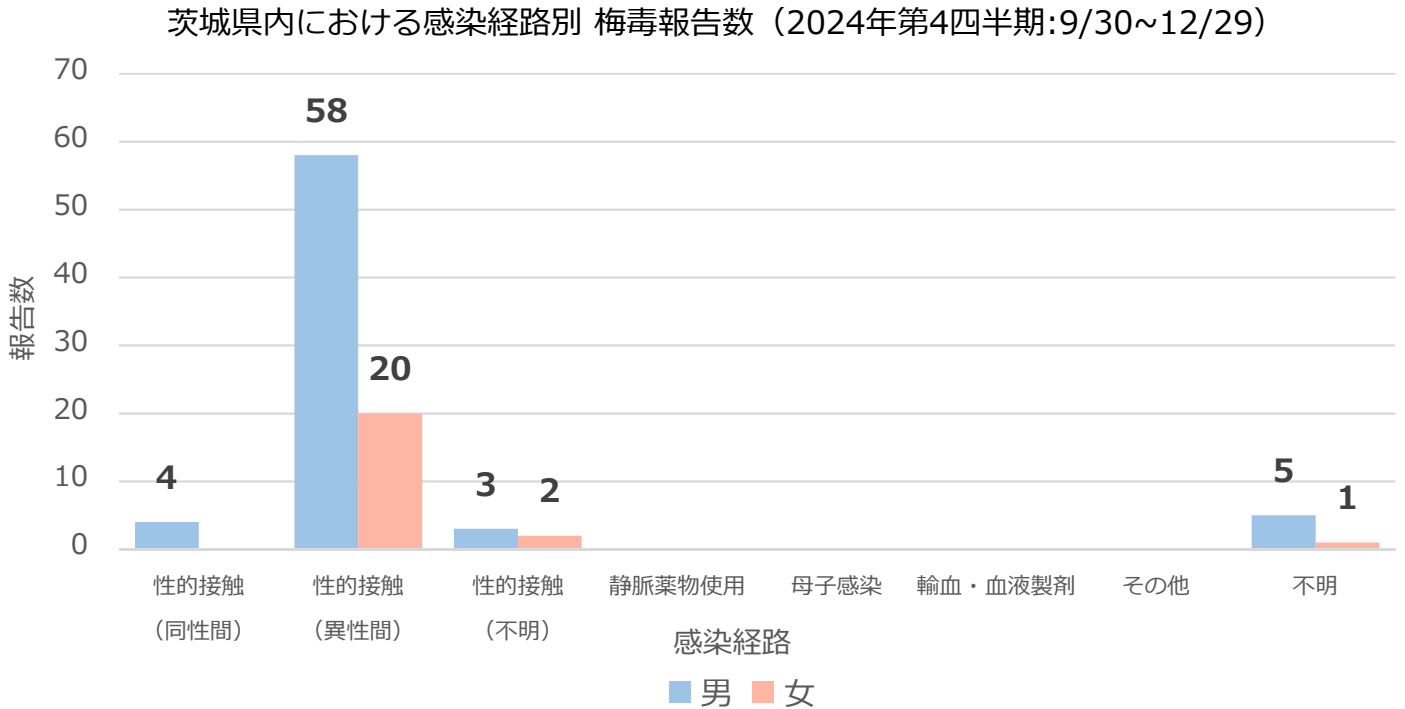
早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
1 (4.3%)	10 (43.5%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)	11 (47.8%)	23

- 2024年第4四半期の報告は、早期顕症Ⅰ期の割合はほぼ横ばいであったが、早期顕症Ⅱ期の割合が減少し、無症候の割合が高くなった

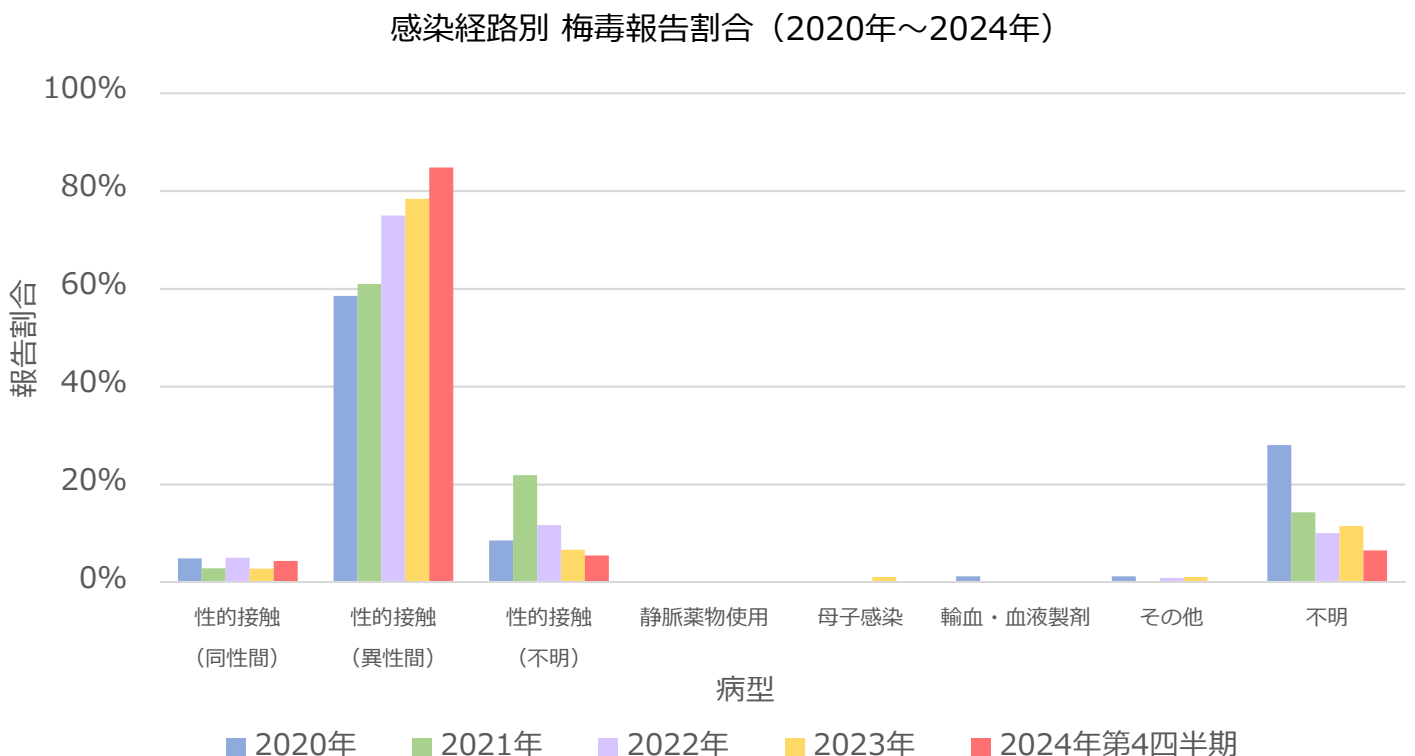


感染経路別 梅毒報告状況

- 2024年第4四半期に報告のあった梅毒症例の感染経路は、男女ともに「異性間の性的接触」が最も多く、男性のうち4例は「同性間の性的接触」であった



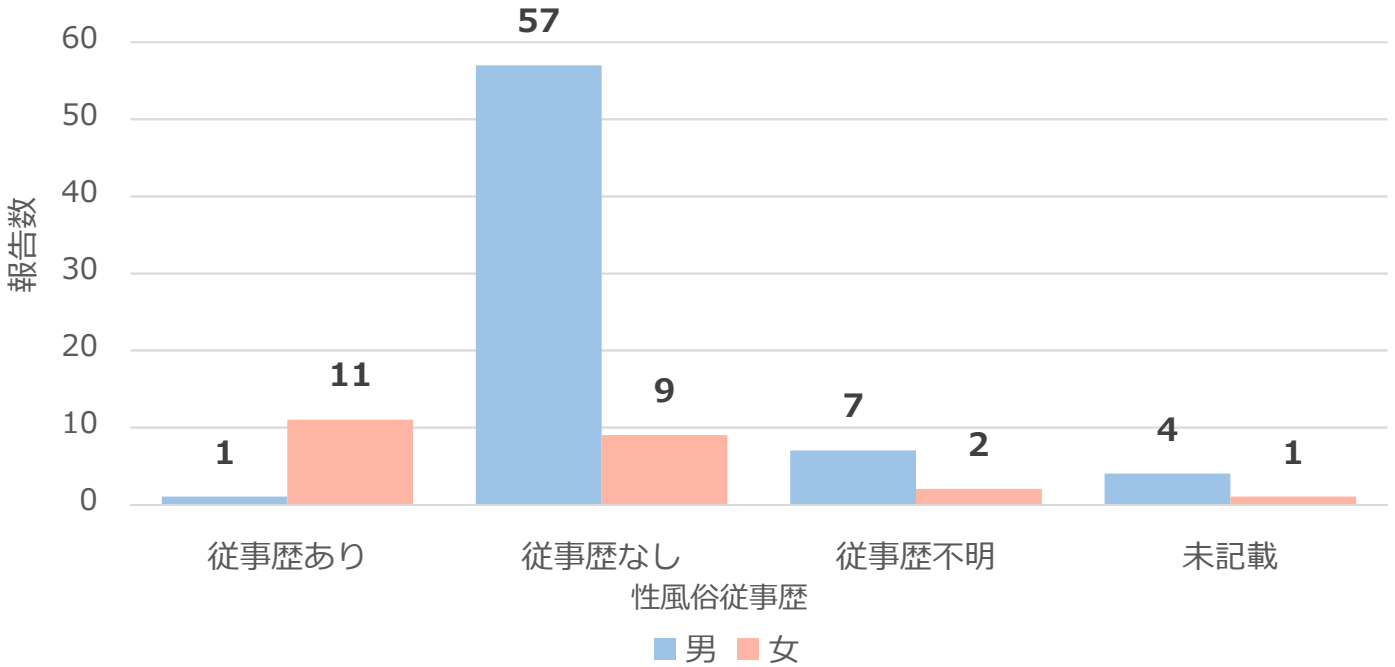
- 過去4年間の感染経路別報告割合は、いずれの年も「異性間の性的接触」が最も高かった
- 2020年以降、「異性間の性的接触」の報告割合は、増加傾向にあり、2024年第4四半期は85%（78例）であった



性風俗産業従事歴別 梅毒報告状況

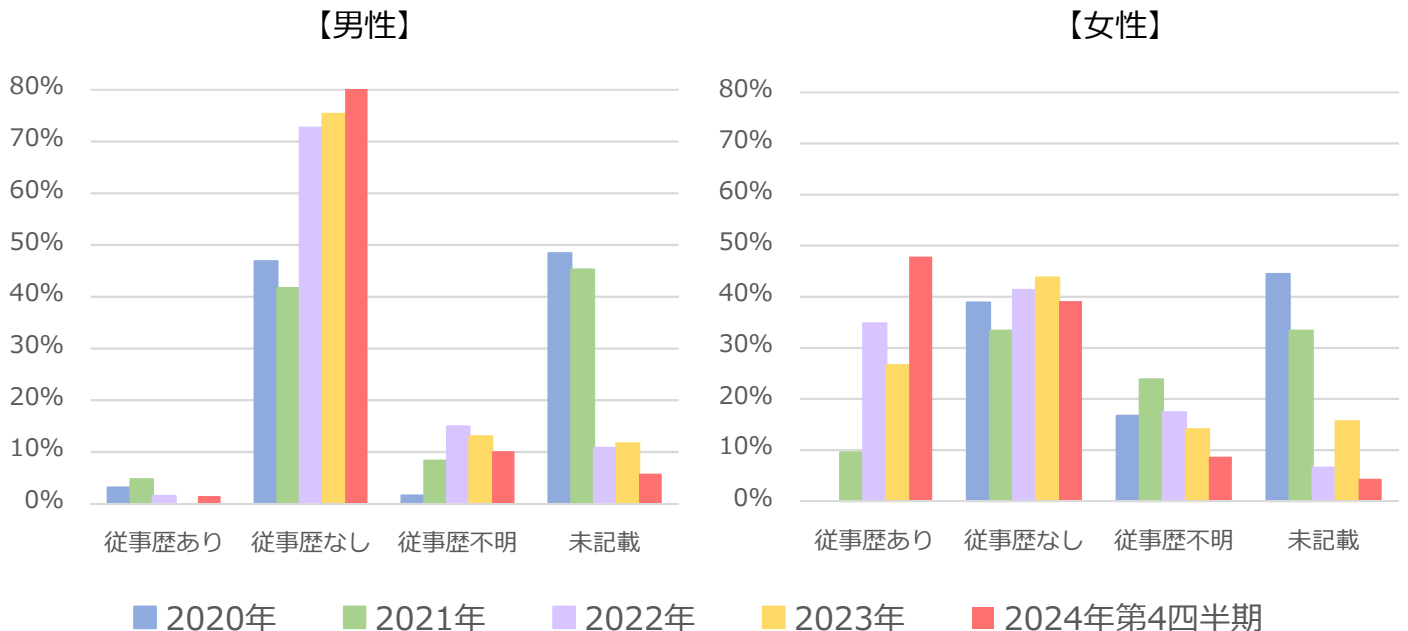
- 2024年第4四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業従事歴ありの男性は1例（1%）、女性は11例（48%）と女性に多かった

茨城県内における性風俗従事歴別 梅毒報告数（2024年第4四半期:9/30~12/29）



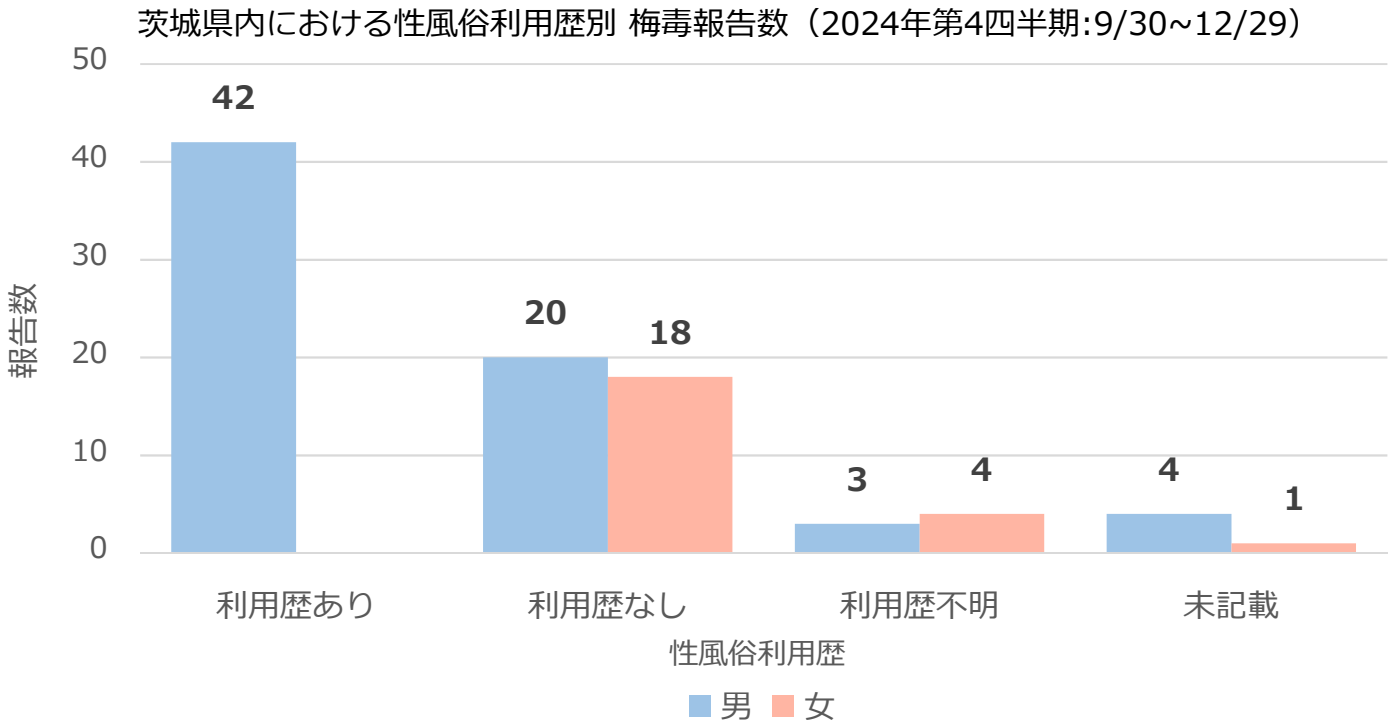
- 2020年以降の性風俗産業従事歴ありの割合は、いずれの年も女性のほうが高かった
- 2022年以降、性風俗産業従事歴なしの男性の割合は微増傾向にある
- 2024年第4四半期に報告のあった女性症例の性風俗産業従事歴ありの割合は48%と、2020年以降、最も高かった

性風俗産業従事歴別 梅毒報告割合（2020年～2024年）



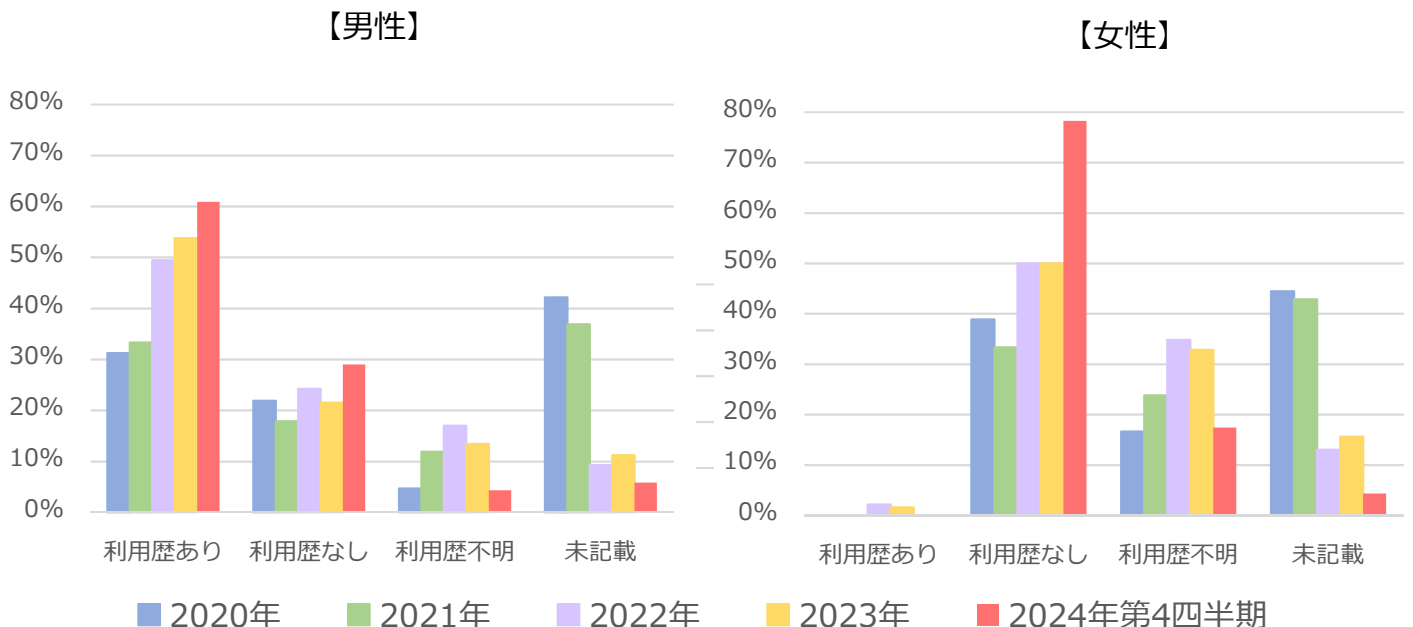
性風俗産業利用歴別 梅毒報告状況

- 2024年第4四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業利用歴ありの男性は42例（61%）、女性は0例と男性に多かった



- 2020年以降の性風俗産業利用歴ありの割合は、いずれの年も男性のほうが高く、男性症例の利用歴ありの割合は年々増加している
- 利用歴ありの女性症例はほぼなく、2024年第4四半期に報告のあった女性症例は、2023年と比較すると利用歴なしの割合が増加（50%→78%）した

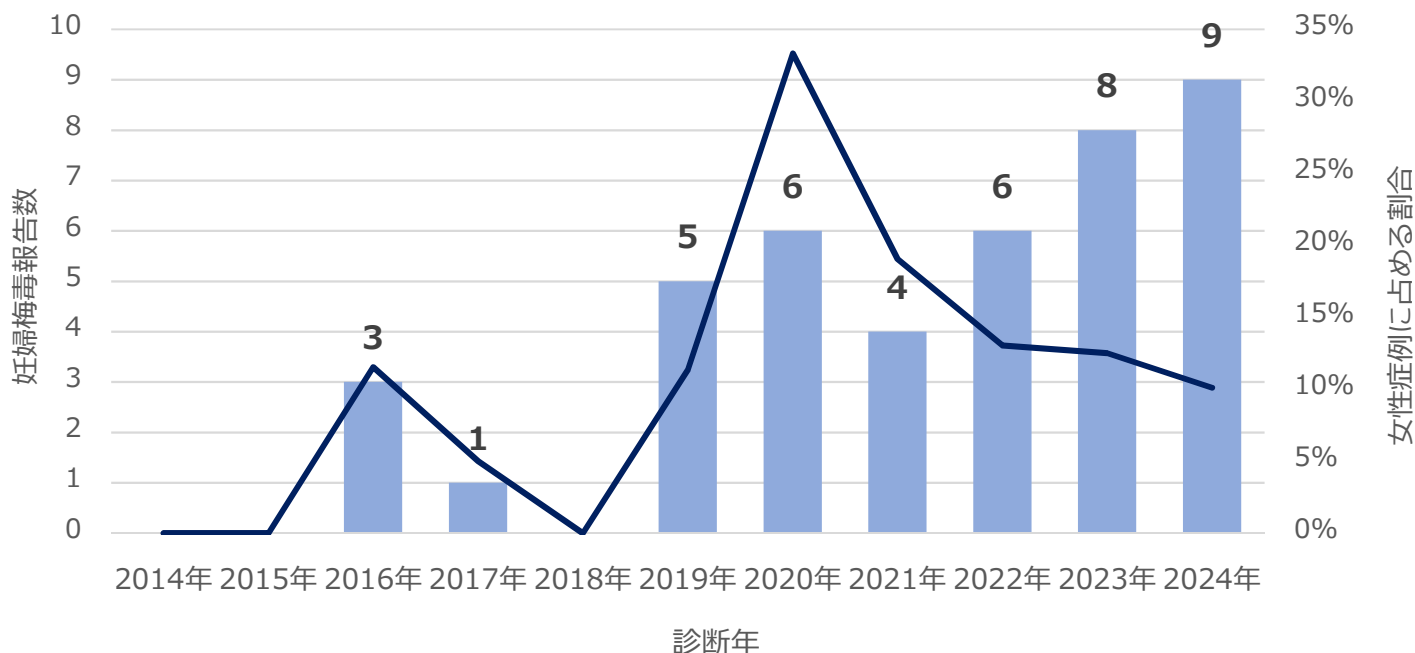
性風俗産業利用歴別 梅毒報告割合（2020年～2024年）



妊婦梅毒

- 茨城県内における妊婦梅毒報告数は、2021年以降年々増加傾向にあり、2024年の妊婦梅毒報告数は9例と過去最多となった

茨城県内における妊婦梅毒報告数（2014年～2024年）



- ・ 2019年～2023年3月10日までは、感染症発生動向調査システムに登録された梅毒症例のうち「疾病共通備考欄」または「その他事項」の欄に「妊娠」の記載が含まれるものを抽出
- ・ 2023年3月11日以降は、感染症発生動向調査システムに「妊娠の有無（女性のみ）」の欄が追加となったため、当該欄より抽出

先天梅毒

- 2024年の茨城県内における先天梅毒の報告数は、0例であった

茨城県内における先天梅毒報告数（2014年～2024年）

